

No.762 2010年11月15日

ARIBからのお知らせ

第78回電波利用懇話会開催のお知らせ 「ブラジルにおける地上デジタル放送の展開」

ブラジルにおいては、2007年12月にISDB-T方式による地上デジタル放送がサンパウロで開始されてから、3年が経過しました。この間に、地上デジタル放送のサービスエリアは順調に拡大されるとともに、固定受信機のみならずワンセグ受信携帯電話の市場は急速に拡大しております。

2016年6月に予定されているアナログ放送の停波に向けて、2010年から、法令により、デジタル・チューナの内蔵が、32インチ以上のテレビ受信機に対して義務付けられています。その対象範囲は毎年拡大され、2012年からは、ブラジルにおいて生産されるすべてのテレビ受信機に対して、デジタル・チューナの義務付けが行われることとなっています。また、GINGAと呼ばれるデータ放送の標準規格が2010年春に制定され、インターラクティブなサービス提供などの新しいビジネスの展開が進められつつあります。

ブラジルの地上デジタル放送をめぐるビジネスは、潜在的な成長力やその市場規模の大きさから、海外展開を図る多くの企業にとって、魅力的なものとなっています。このため、当会では、ブラジル最大の放送局であるTVグローボの技術部門のとりまとめ役であり、またSBTVDフォーラムにおいてブラジルの放送分野の標準規格の策定の責任者でもあるアナ・エリザさんをお招きして、ブラジルにおける地上デジタル放送の展開についてご講演いただくことといたしました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、今回の講演については、英語のみで行なわれ、日本語通訳のサービス提供はありませんので、ご了承願います。

- 1 日時 : 平成22年12月6日(月) 午前10時から11時30分まで
- 2 場所 : 社団法人電波産業会 会議室 (日土地ビル11階)
東京都千代田区霞が関1-4-1 TEL:03-5510-8592
- 3 題名 : 「ブラジルにおける地上デジタル放送の展開」
- 4 講師 : Mrs. Ana Eliza
(Digital Transmission Projects, Globo Engineering Center, Rede Globo)
- 5 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 50名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤まで
TEL: 03-5510-8592

**InterBEE 2010におけるARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式
技術資料」協賛展示プログラム参加企業について**

当会のスタジオ設備開発部会・放送素材ファイルフォーマット検討作業班では、ARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式技術資料」が定める番組交換方式をより多くの関係者に知っていただくために、「InterBEE 2010 ARIB TR-B31協賛展示プログラム」を企画し、本年9月に参加企業を募集したところ以下の10つのグループ会社から応募がありましたのでお知らせします。

○ 参加企業一覧（五十音順）

池上通信機株式会社

株式会社IMAGICAデジックス・株式会社フォトロン

エル・エス・アイ ジャパン株式会社

ソニー株式会社・ソニービジネスソリューション株式会社

株式会社東芝

日本アイ・ビー・エム株式会社

日本電気株式会社

日本ヒューレット・パカード株式会社

富士通株式会社

株式会社朋栄・株式会社朋栄アイ・ビー・イー

○ ARIB TR-B31協賛展示プログラム

本プログラム参加企業は、InterBEE 2010でのARIB TR-B31関連展示・発表において、共通のロゴ「ARIB TR-B31協賛展示」（下図参照）の掲示を行いますので、InterBEE 2010来場者は、このロゴを参照することで、ARIB TR-B31関連展示・発表を網羅的、効率的に把握することが可能となります。



○ 問い合わせ先

■ARIB事務局 : 研究開発本部 放送グループ 馬場 栄

TEL 03-5510-8597 FAX 03-3592-1103 E-mail baba@arib.or.jp

※ ARIB TR-B31「ファイルベースによる番組交換方式」について

この技術資料は、2010年4月26日に策定され、日本のデジタル放送における、映像/音声データ、メタデータ、字幕データ等を、放送事業者及びコンテンツ制作事業者などのプロダクション-放送事業者の相互間でファイル形式によって交換する方式について定めています。

(http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_hoso/hoso_gijutsu_number.html)

第 78 回規格会議を開催（続報）

平成 22 年 11 月 5 日に開催しました、第 78 回規格会議において承認された標準規格、技術資料の策定・改定の概要を以下に掲載します。

1 IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T63 Ver.8.20 及び ARIB TR-T12 Ver.8.20)

3GPP TSG 第 48 回会合（平成 22 年 6 月ソウル開催）までに承認された、リリース 9 からリリース 9 を含めた仕様及び小電力レピータ規格の LTE 対応のために、改定しました。主なポイントは、次のとおりです。

ア リリース 9（LTE/UMTS 関連）

リリース 9 の凍結後、唯一例外扱いとなっていた WI(Work Item)である LTE における LCS(Location Services)について、CR(Change Request)が合意され、WI が完了したことに対応する改定です。

イ 小電力レピータ規格の LTE 対応

小電力レピータ規格である ARIB STD-T63-25.A01 The Low Power Repeaters for DS-CDMA に、2GHz 帯 5MHz 帯域幅 LTE を含めるための改定です。

2 IMT-2000 MC-CDMA System 標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T64 Ver.5.30 及び ARIB TR-T13 Ver.5.30)

2010 年 5 月から 6 月に 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料を踏まえ、所要の改定を行いました。

STD-T64 の主な改定内容は次のとおりです。

(1) 新規規格の追加

ア cdma2000無線インタフェース試験仕様

イ E-UTRAN – cdma2000 1x システム間インタワーク仕様

(2) 既存規格の改定

ア 位置測位サービス試験仕様

イ ICカード仕様

ウ HRPD VoIP プロトコル仕様

なお、TR-T13 については具体的な改定はありませんが、STD-T64 のバージョンアップにあわせてバージョンを Ver.5.20 から Ver.5.30 に変更するものです。

3 UWB(超広帯域)無線システム標準規格 (ARIB STD-T91 1.2 版)

総務省における制度整備（無線設備規則の一部を改正する省令の一部を改正する省令、平成 22 年 10 月 14 日総務省令第 89 号）に対応するために、改定しました。

主な改定内容は次のとおりです。

ア 経過措置の期限延長（平成 22 年 12 月 31 日 → 平成 25 年 12 月 31 日）に伴う改定

イ 経過措置以降の干渉軽減非対応無線設備の取扱いについての追記

なお、第 4 項以降の策定・改定の概要は、次号にて紹介する予定です。

超高精細度テレビスタジオ開発部会 委員長 金澤 勝
(日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部 研究主幹)



現在、私は、超高精細度テレビスタジオ開発部会におきまして、事務局及び部会に参加されている方々のお助けをいただきながら、委員長を務めております。

この部会は2008年3月に、ハイビジョンを超えるテレビジョン放送を実現するための研究開発と標準化活動を行う目的で設立され、ITU-Rにおける超高精細映像・高臨場感音響に係わる規格審議への寄与文書作成などを行っております。部会のもとで、映像システムの検討を映像システム検討作業班（東京放送の清水主任、日本放送協会の境田副主任以下18社が参加）、音響システムの検討を音響システム検討作業班（日本放送協会の渡辺主任以下10社が参加）、放送局内の機器間インタフェースの検討を機器間インタフェース検討作業班（日本放送協会の金次主任以下17社が参加）が、それぞれ担当しております。

私自身は会社で超高精細映像を担当しておりますが、部会や作業班の方々の多くにおいては、担当されている審議が現時点で直接業務には関係しないと存じております。それが一緒になって審議に参加していただいているのは、例えば10年後に「あのとき一生懸命努力して作った規格で多くのシステムが動いていて、みんなで作っておいて本当によかった」と思える夢を持っているから、なのではないでしょうか。私がARIBに関係したのはハイビジョンの標準画像作成の頃（1990年ころ、そのときはBTA：放送技術開発協議会）からですが、そのときの標準画像などは今でもどこかで使われています。将来どこかで使われて、作っておいて良かったと思われる、それを夢見て続けて行きたいと思えます。

編集後記

10月31日、32年ぶりに羽田空港の国際定期便の運航が再開されました。縦と横2本ずつの井げた状の滑走路になり、2011年2月末までに、世界17都市への就航が予定され、年間の発着が最終的にこれまでの1.5倍の45万回に増加される予定です。

発着回数の多い主な世界の空港は、2009年で1位のアトランタ（米）97万回から6位まで米国が占めおり、7位パリ・シャルルドゴール（仏）、10位北京（中）、12位ロンドン・ヒースロー（英）等で30位以内には日本の空港は入っていません。乗降客数に羽田が5位の6190万人でした（ACI Reportから）。
(H.K)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp